

同窓会報

巻頭言

「ホームカミングデーに 参加してください」

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長

原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、私は、毎年、この同窓会報で、本学を取り巻く高等教育環境の動向を皆様にお知らせしてまいりましたが、今回は、ホームカミングデーのご案内をさせていただき、皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

ホームカミングデーは、毎年10月の土日に催される大学祭の日程に合わせて開催しています。ホームカミングデーは、本学の教職員と在学生在が卒業生の皆さまをお迎えして懐かしい友人や教職員と旧交を温めるとともに今と昔のおかたん生とおかがく生の交流をはかることで、皆様のお話の中から本学の歴史と本学に培われてきた伝統を学ぶことを目的としています。また、思い出の母校で過ごしていただくことで、本学の教育・研究の「今」を肌で感じていただくこともできます。

顧みますと、本学は、昭和26年に岡山女子短期大学として開学し、平成12年に岡山短期大学に名称変更、平成14年には岡山学院大学を併設開学しましたので母校の名称も3種になっています。学際領域を付した学科の名称も、家政科、保育科、栄養科、食物栄養科、家政学科、幼児教育学科、食物栄養学科、英語科、生活情報学科、人間生活学部食物栄養学科、人間生活学部生活情報コミュニケーション学科、人間生活学部人間情報学科、キャリア実践学部キャリア実践学科などそれぞれの時代が求めた人材養成に応じた名称へと多種にわたり、更には男女共同参画を受けて女子教育から男女共学にもなりました。現在は、岡山学院大学は人間生活学部食物栄養学科の一学部一学科、岡山短期大学は幼児教育学科の一学科と大学も短期大学も資格取得を専門とする単科の大学、短期大学となりましたが、開学以来63年の歳月を経ても建学の精神である教育三綱領「自律創生・信念貫徹・共存共栄」は変わらず継承されております。この教育三綱領こそが皆様と本学を結ぶ絆であり、ホームカミングデーで皆様をお迎えして親しくお話が出来れば本学の関係者にとって教育三綱領の成果の確認の場と成り得るのです。

卒業生参加者の感想として、「色々な時代の卒業生の方々などと会話できてよかった。」「和やかな雰囲気よかった。」「いろいろな年齢の人に会えて、笑顔でお話できてよかった。」「軽食がおいしかった。同級生に会えた!」「先生方と久々にお会いでき、話かけてきて下さったので楽しい時間を過ごすことができた。」「楽しく参加でき後輩と交流できたことや懐かしいビデオを観れたことがよかった」などが寄せられ、在学生からは、「色々な話が沢山できた。」「病院のお話が聞けてよかった。」「先輩方との距離が近かったので話がしやすかった。」「卒業生と話の出来るいい機会となった。」「お料理がとてもおいしかった。」「先輩方から非常にためになる話を聞くことができた。」「先輩たちに質問しやすく卒業後の対策に役立った。」「保育士になってからの必要なことや、困ったときの対応を教わった。」「色々な世代の方々と話ができたので勉強になり、とても楽しかった。働くことって素敵だと思った。」などの感想が寄せられ、毎年50名弱の参加者ではありますが成果も上がっております。

私は、岡山女子短期大学の開学の年、昭和26年に本学の草創の地岡山県鴨方町六条院に生まれました。本学には開学の折から学生寮を備えておりましたので、寮生の方々の子守をして下さっていたのをかすかに覚えています。原田林市と原田かめよは私の祖父母で、原田勉と原田俊子は私の父母です。祖父母の居宅を中心にして、両親と私たちは学生寮の学生と生活を共にしたり、全学生といっしょに田植えをする勤労奉仕などがあって大学そのものが家族の様でもありました。毎年7月に開催される同窓会総会では、必ずと言っていいほど私を見るなりあの時のヒロ君と言って昔を懐かしんで下さる方にお会いすることができます。そうすると鴨方の話題に花が咲き、何とか先生は厳しかったけど皆頑張ったとか、保田先生(父の当時の呼名)が私たちの話を聞き入れて下さって全てを手配してくれたなど当時の学友会運営のことまでもが事細かに拝聴できます。話題に上る先生方は既に他界されていらっしゃるようですが、当時を偲ぶというよりまるでその場にご臨席を賜っているかのようでもあります。私たち教員は同窓会総会へのご招待を毎年いただき、出席させていただいた幾人かは皆様方のお話から教育三綱領の教えの行方をうかがい知ることができるのですが不参加の者にはその旨今一つ浸透できていないのではないかと案じております。ましてや在学生にとってはそのチャンスさえありません。このように同窓会総会で得ることのできる卒業生の暖かいご支援を是非とも在学生にもいただきたく本学が主催するホームカミングデーへの多数のご参加をお願いする次第であります。ホームカミングデーのご案内は毎年9月ごろに本学のウェブサイトでもアップします。同窓生諸氏の一層ご協力を賜れば幸いと存じます。

同窓会総会のお知らせ

第60回同窓会総会は、来る平成26年7月13日(日)の午前11時から倉敷国際ホテルに於いて開催されます。今年は「6」がつく年の卒業生の方々(準備会)が当番です。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。 第60回同窓会総会準備会

平成25年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原 田 博 史
会 長	昭 和 42 年	保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭 和 41 年	保	森 上 敏 子
	昭 和 42 年	栄	岡 本 喜 久 子
常 務 理 事	平 成 21 年	食	柴 野 暢 介
	平 成 24 年	食	上 野 茜
理 事	昭 和 58 年	幼	平 松 弘 子
	昭 和 58 年	幼	船 岳 理 恵
	昭 和 62 年	幼	高 岸 益 子
	平 成 7 年	幼	中 務 衣 都 子
	平 成 13 年	食	川 西 絵 里 子
	平 成 18 年	食	山 口 泰 明
監 事	昭 和 44 年	食	井 頭 久 子
	昭 和 52 年	幼	西 早 苗
	平 成 15 年	幼	木 村 太 郎

本部便り

平成25年度 第1回理事会(平成25年5月18日)

- 平成24年度事業報告並びに収支決算報告が行われた。
- 平成24年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
- 役員退任に伴う補欠役員の選任が行われた。
- 平成25年度事業計画及び予算について事務局より案が出され、協議の上決定された。
- 前回の総会の反省点を踏まえ、第59回同窓会総会・懇親会の案内状・振込用紙等が作成された。

平成25年度 第2回理事会(平成25年6月29日)

- 第59回同窓会総会・懇親会の役割が協議決定した。
- 総会次第及び総会の準備を行った。

平成25年度 第3回理事会(平成25年12月7日)

- 第59回同窓会総会・懇親会の報告及び決算について結果報告があり、その後次回に向けての反省が行われた。
- 第60回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、平成26年7月13日(日)に倉敷国際ホテルにて開催することが決定した。
- ホームカミングデー(大学主催)が平成25年10月27日(日)に行われ、同窓会も平成20年から22年3月卒の同窓会員に案内状の発送協力をしたと報告があった。

第59回同窓会総会記録

平成25年7月7日(日)午前11時、原田博史学長をはじめ、他13名の先生方のご出席をいただき、倉敷国際ホテル(桜

花の間)において、総会が開催された。

【第59回 同窓会総会】

- 開 会 司会：岡本喜久子副会長
- 会長挨拶 中塚志津子同窓会長
- 名誉会長挨拶 原田博史学長
- 来賓紹介 岡本喜久子副会長より来賓紹介
- 来賓挨拶 岡部泉理事
- 物故者追悼(黙祷)
- 退任者花束贈呈
- 役員紹介 役員自己紹介
- 議長選出
- 議 事 北條由貴氏(平成25年食)

(1)平成24年度事業報告並びに決算報告

柴野暢介常務理事、上野茜常務理事

- 理事会…年3回(平成24年5月、6月、12月)の開催
- 準備会…平成24年6月、7月(関西同窓会)、平成25年2月開催
- 第58回同窓会総会・懇親会の開催(平成24年7月8日(日) 倉敷国際ホテル桜花の間)
- 同期会への補助
昭和34年(保育科)
昭和44年(家政科、保育科)
- 第4回関西同窓会(平成24年9月2日(日)、3日(月) 日立ビルシステム淡路保養所)

- 同窓会報第35号発刊(平成25年3月)
- ITリテラシー教育のための拠金(継続)
- ホームカミングデー(大学主催)に協力
- 平成24年度収支決算書(別表)を報告

(2)監査報告 木村太郎監事

「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)平成25年度事業計画案並びに予算案

柴野暢介常務理事、上野茜常務理事

- 理事会…年3回(平成25年5月、6月開催、12月開催予定)
- 準備会…平成25年6月開催(第59回同窓会総会第2回準備会) 平成26年2月開催予定(第60回同窓会総会第1回準備会)
- 第59回同窓会総会・懇親会の開催(平成25年7月7日(日))

- 同期会への補助
- 同窓会報第36号発刊(平成26年3月)
- ITリテラシー教育のための拠金(継続)
- ホームカミングデー(大学主催)に協力
- 平成25年度の予算案について、全員異議なく了承された。

11. ホームカミングデーのご案内 原田俊孝学園主事

12. 閉会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

平成25年度同窓会総会及び懇親会は「5」のつく年の同窓会総会準備会の運営で開催されました。14名の先生方と44名の卒業生が一同に集い、岡山学院大学8期生の田原瞳さん、藤井美里さん、北條由貴さんによる司会進行で懇親会は始まりました。

浜田陽太(H25幼)さんの開会挨拶後、白神厚子先生



に乾杯をしていただき、皆様にぎやかに食事が始まりました。懐かしい同級生や来賓の先生方としばらく会話を楽しんだ後、余興が始まりました。原田学長先生の〈テイクミーホームカントリーロード〉の熱唱によりスタートし、来賓の浦上博文先生より〈ブルーライトヨコハマ〉を歌っていただきました。その後、平成25年食物栄養学科卒業生による〈ロビンソン〉が歌われました。そして、



関西支部長である角田操（S42食）さんから平成24年9月2日(日)、3日(月)に日立ビルシステム淡路保養所で行われた第4回関西同窓会、懇親会及び懇親旅行について報告がされました。少しの歓談の後、飛び込みで、立川清子（S33家）さん、駒井慶子（S33家）さん、廣内彰子（S35保）さんによる近況報告がされ、先輩の話に皆様興味深く聞き入られました。その後、山口博幸（H15、18食）さんと木村太郎（H15幼）さんから近況報告がされ、頑張っておられる姿を皆様楽しそうに聞かれておりました。そして昭和55年幼児教育学科卒業生による〈いい日旅立ち〉が歌われました。楽しく会場も盛り上がったところで「5」のつく当番年の参加者が舞台上がり、白神厚子先生のピアノ生伴奏により出席者全員で〈旧校歌〉〈旧学生歌〉〈大学校歌〉〈短大学歌〉を大合唱いたしました。そして、北條由貴（H25食）さんの閉会挨拶により、同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。



今回も昨年同様、自由席としバイキング形式で開催いたしました。参加者の皆様は久しぶりの同級生や先生方と自由に座り懐かしい思い出に花を咲かせておられました。まだ同窓会総会・懇親会に参加されたことがない皆様、久しく参加されていない皆様、毎回楽しく会を開いておりますのでぜひ参加してください。お待ちしております。

ご出席いただきました先生方は、原田博史学長、岡部泉理事、宮崎正博教授、友近健一教授、竹原良記教授、浦上博文教授、白神厚子教授、福井晴子教授、尾崎聡教授、楠本恭之准教授、妹尾良子講師、中原真由美講師、藤澤克彦講師、原田俊孝学園主事でした。ご参加ありがとうございます。次回もまたご参加いただき同窓生と楽しい一時を過ごしていただければと思います。

昭和55年卒 同期会

「ねえねえ、わたしわかる?」「わかる、わかる!」「ぜんぜん変わってないよー。」

それぞれ年を重ね、容姿は多少変わってしまったものの、三十数年ぶりの再会は、一瞬にして、時空を超え、私たちが有城の学び舎へと運んでくれました。学生の時のようにすぐに打ち解け、当時の思い出話から始まり、仕事、家族、健康等について、おいしいケーキを頂きながらの会話は、尽きることがありませんでした。

話の中で、みんなが口を揃えて言ったことはピアノのレッスンは厳しかったことでした。緊張して指は思うように動かず、先生が刻む正確なリズムに、何とかついていこうと必死でした。ピアノを奏でる楽しさを味わうなんてほど遠く、レッスン室から出てくる人は皆大きなため息をついていたのです。しかし、それも今となっては良き思い出です。幼児教育に携わる者にとってピアノは





必須条件。その時の指導のおかげで、現在の私たちがあるのだと、恩師の方々への感謝の気持ちが溢れてきました。

私自身は、現在も保育士として働いていますが、結婚や出産を機に、退職したり、フルタイムから非常勤やパートになったり、他の職に就いた人もいました。いろいろな事情で働く形態は変わっても、本学で学んだことや経験したことを礎とし、社会の一員となり、それぞれの場で、わずかながらでも社会貢献しているとすれば、それで、ささやかな恩返しができることにつながります。

同期会の二次会では、趣味や、体力づくり、ストレス解消法へと話はひろがりました。

五十路もなかばの私たちにとって、現在の健康を維持しながら、心豊かに過ごすことが、どうやら共通の目標のようです。

参加を迷った同窓会でしたが、懐かしく、素敵な時間を過ごす機会を与えていただき感謝いたしております。
昭和55年 幼児教育学科卒 河村 久美子 (旧姓：藤本)

平成25年卒 同期会

平成25年7月7日に倉敷国際ホテルで同窓会総会の後に同期会が行われました。

3月に岡山学院大学を卒業し7月7日に再会した皆は、久しぶりにあったとは思えないほどに大学時代と変わらない友人たちであり、久々の会話はとても楽しかったです。

会話の内容も学生時代と変わらない他愛もないものから、社会人としての仕事の悩みなど多岐にわたりました。国試対策でも学生生活の中でも毎日のように支えてくださった先生方は、卒業してなお私たちを気にかけてくださっており、先生方への感謝は先の同窓会総会の時に伝えきれないほど大きなものでした。

私たちの学生時代は様々な地域から集まった友人たちとともに学び、遊び、切磋琢磨する楽しい日々でした。卒業後は皆地元で就職しておりなかなか一同に会することもなく少しの淋しさと、それを忘れるほどの忙しさに追われている友人も多くいました。

私自身、学生の時とは違った視点で物事を見たり、新しい環境の中に身を置く中で学友に会えないという寂しさを忘れておりました。

閉会の時間が近づくにつれ、忘れていた寂しさを思い出した私たちは名残を惜しみながら、また会おうと約束し別れました。

同期会では学生時代に戻ったような懐かしく温かい時間を過ごせました。

平成25年 食物栄養学科卒 北條 由貴



平成25年卒 同期会

卒業してから数ヶ月しか経っていないのに同期生や教えていただいた先生に会うと、とっても久しぶりに会った感じでした。4月から働きだして、社会の厳しさや働くことの大変さを知りました。会に参加したことで仕事での大変さや社会人としてのふるまい方などの貴重な話をしたり、相談したりと参加してよかったと思いました。このような会を開いてくれた母校に本当に感謝申し上げます。なお会の初めのあいさつや出し物などさせてもらうことにより、多くの先輩方と関わる場をもらえて楽しく会に参加することができました。こんなにも楽しく会に参加することが出来たのは先生方や、多くの温かい先輩方のおかげでした。来年からまた、新しい卒業生が同窓会に参加されると思うので自分も温かい先輩方のように後輩が楽しい会だったなと思えるようにしていきたいです。
平成25年 幼児教育学科卒 浜田 陽太



昭和43年卒 同期会

「昭和43年同期会を終えて」

昨年第4回関西同窓会に初めて参加させていただき、45年ぶりのなつかしい友との出会いに、来年もとささやかな願いが今回の開催となりました。最初14名でしたが当日10名の参加で1年のブランク何のその、昨日会ったかのような…後は想像におまかせします。

広島駅に午前11時に集合、あいにくの雨でしたが一路宮島へ、一度行ってみたかった「岩惣」での昼食、少々訳ありのコーヒーとお菓子のサービス、その上宿まで車で横付けと大変助けられました。入室までは近くの水族館めぐりその後の部屋での座談会は充実そのもの唯一現

役活動中の人の話は実用かつ有意義なもので話に花をいっぱい咲かせることが出来ました。次の日は宮島さんに参拝し皆の健康を祈り、お土産を手に帰路に着きました。

貴校の学び家があってこそこの再会の喜びを心から感謝し命の洗濯の出来た2日間でした。

昭和43年 栄養科卒 西 美知子 (旧姓：大平)

【食物栄養学科】
「タブレット端末を使って栄養指導」
【幼児教育学科】
「保育や保育相談のシミュレーション」

昨年の会報において食物栄養学科による「地域高齢者と大学の連携による現場に即応する管理栄養士の育成」、幼児教育学科による「模擬保育室・保育相談実践室を利用した保育実感力養成プログラム」が文部科学省の平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に採択されたことを紹介いたしました。



地域訪問栄養長寿教室 (於 田ノ上町内会館)。
 タブレット端末を使って高齢者に栄養指導をする学生



体成分分析器を使って測定中。

早速、食物栄養学科では、タブレット端末、体成分分析器、全自動血圧計、自動身長計付き体重計、加速度脈波測定システム、食育SATシステムなどを活用して、倉敷市老人クラブ連合会と連携しながら栄養指導と健康に配慮した食事の提供を学生主動で運営する「栄養長寿教室」を継続・発展させ、また学外で「地域訪問栄養長寿教室」を開催しています。

一方、幼児教育学科では模擬保育室および保育相談実践室が整備され、毎日の授業の中で保育実践力の養成を目ざす教育が展開されています。また設備は広く地域一般を対象とした講座や子育てカレッジなどにも提供され、学生にとっては学校に居ながら地域の子どもや保護者と関わることの出来る素晴らしい機会になっています。

今後も建学の精神と特色を生かした人材育成と地域社

会の期待に応える教育研究を強化してまいりますので今後の動向をご注目下さいますとともに、皆様のお力添えをお願い致します。
 (編集部取材)



保育者役と園児役に分かれてまごど遊びのロールプレイを行う。後方はシートを手に観察する同級生 (人間関係 於 模擬保育室)



保育士役と母親役に分かれての子育て相談のロールプレイを行う (保育相談支援 於 保育相談実践室)

おかたん子育てカレッジがオープン



おかたん子育てカレッジ オープニングセレモニー (於 模擬保育室)

平成25年9月14日(土)、おかたん子育てカレッジがオープンしました。おかたん子育てカレッジは岡山県指定の事業で、岡山短期大学が有する知的財産、人的財産やネットワーク・施設等を活用して行う“協働による地域ぐるみの子育て支援”の取組みです。具体的には地域の重要な社会資源である大学内に子育て支援拠点(子育てカレッジ)を設置し、地域の子育て支援関係者が加わった実行委員会が事業全体の企画運営を行っていきます。事業内容と

しては新たな子育て親子の交流の場の提供、大学の持つ子育てに関する専門知識等の地域への還元、地域の子育て支援機能の充実を目指して、例えば本学教員が講師として開催する表現教室・絵本教室・工作教室・料理教室や、学生が卒業研究発表として行う舞台発表（吹奏楽、合唱、オペレッタ、ダンスなど）・遊びの広場（手作り遊具コーナー、おはなしのコーナー）に親子を招待し、交流を行いました。

その他にも幼稚園教諭・保育士・地域の子育て支援者に対する研修、子育てや子育て支援に関する相談、子育てや子育て支援に関する情報発信、子育て支援の活動に対する支援、地域の子育て支援関係者の情報交換など様々な事業内容を展開していきますので今後の動向をご注目下さいますとともに、同窓生の皆様のお力添えをお願い致します。

【本年度実施事業】

- 平成25年9月14日(土) 親子絵本教室
- 平成25年11月16日(土) 親子料理教室
- 平成25年10月19日(土) 親子工作教室
- 平成25年12月6日(金) 子どもといっしょに発表会
- 平成26年1月18日(土) おかたん子育て支援セミナー（食育セミナー、交流会）

【お問い合わせ・申し込み先】

岡山短期大学（おかたん子育てカレッジ事務局）
〒710-8511 岡山県倉敷市有城787
TEL・FAX (086) 428-3549
E-mail yojimu2@owc.ac.jp（幼児教育学科実習準備室）

人間生活学部 食物栄養学科 卒業研究発表会

平成25年7月13日(土)、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

【発表題目および発表者】

- 「食育SATシステムを使った効果的な栄養指導法の研究～高校生の集団を対象にした栄養指導について～」
植野芹奈
- 「食育SATシステムを使った効果的な栄養指導法の研究～大学生の集団を対象とした栄養指導～」
小山 茜
- 「食育SATシステムを使った効果的な栄養指導法の研究～高齢者（個人）における低栄養予防指導～」
高下美咲
(研究指導：高槻悦子講師)
- 「これからの長寿食について」
小林綾華
(研究指導：岡本喜久子教授)
- 「日本人の婦人科癌の発症リスクに関わる遺伝子多型」
土屋麻奈美
- 「日本人の弧発性乳癌の発症リスクに関わる遺伝子多型」
長川紗千
- 「日本人の肥満に関わるアミノ酸置換型遺伝子多型の探索」
藤原菜月
- 「膵臓癌患者における糖尿病の併発と遺伝子多型」
室野亜弥
(研究指導：清水憲二教授)
- 「旬の食材の給食献立への利用状況調査～魚介類編～」
嵐谷恵梨佳

- 「旬の食材の給食献立への利用状況調査～野菜類編～」
阿部優里香
- 「旬の食材の給食献立への利用状況調査～果物類編～」
石原悠平
(研究指導：妹尾良子講師)
- 「古里の食材を使用した郷土料理の研究（沖縄県）」
金城朋美
- 「古里の食材を使用した郷土料理の研究（広島県）」
穴戸郁香
- 「古里の食材を使用した郷土料理の研究（香川県）」
八田 瞳
- 「古里の食材を使用した郷土料理の研究（山口県）」
廣政彩乃
- 「古里の食材を使用した郷土料理の研究（岡山県）」
藤岡元美
- 「古里の食材を使用した郷土料理の研究（沖縄県）」
外間ゆうな
(研究指導：中原真由美講師)
- 「青果に興味をもたせる方法の提案」
宮迫智樹
- 「妊婦への青果の販売促進について」
奥田理子
- 「青果の販売促進のためのPOPの考案」
出口武志
- 「青果の販売促進を目的としたポスターの考案」
大野 愛
(研究指導：藤澤克彦講師)
- 「マヨネーズの成分と製法」
石川未紗
- 「紅茶の成分と製法」
荻野志保
- 「醸造酒と蒸留酒」
浪越浩平
- 「発酵食品、醤油と味噌に関して」
益田祐図
- 「ジャムの製造法」
森本恵利香
(研究指導：松下至准教授)
- 「5分間の効果的な栄養指導法－地場産物を知ろう（中・高学年）」
迫井 徹
- 「5分間の効果的な栄養指導法－給食に使われている食材を知ろう（全学年）」
高塚唯子
- 「5分間の効果的な栄養指導法－はしの使い方（低学年）、カルシウムの働きについて（高学年）」
中橋 巧
- 「5分間の効果的な栄養指導法－旬の野菜を知ろう（中学年）食べ物の働き（中学年）香川県の特産物を知ろう（高学年）」
三木杏里
(研究指導：三宅由紀子講師)
- 「肥満と運動」
北風 彩
- 「肥満と予防について」
竹田沙由里
- 「肥満とその予防」
白井こむぎ
- 「褐色脂肪細胞による肥満予防」
北村加菜
- 「食事と肥満とその予防」
三宅ちはる
(研究指導：宮崎正博教授)
- 「血管年齢についての研究」
岡本美奈
(研究指導：竹原良記教授)
- 「食育SATシステムを使った効果的な栄養指導法の研究～高齢者を対象にした塩分摂取について（集団）～」
品川晶子
(研究指導：高槻悦子講師)

幼児教育学科 子どもといっしょに発表会

平成25年12月6日(金)、本学体育館において「子どもといっしょに発表会」が開催された。倉敷市内の幼稚園、

保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

【プログラム】

○発表

《吹奏楽演奏》 研究指導：平松泰一講師

1. 童謡メドレー
2. トトロより「さんぽ」

《合唱》 研究指導：畑田弘美講師

1. ジングルベル
2. さんぽ～となりのトトロ
3. 君をのせて

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理准教授

1. もりのおかしやさん

《大型パネルシアター》 研究指導：浦上とし子講師

1. まんまるさん
2. あわてんぼうのサンタクロース

《ダンス》 研究指導：藤井真理准教授

「恋するフォーチュンクッキー」

《オペレッタ》 研究指導：藤井真理准教授

「6匹のこぶた」

○遊びの広場

《手作り遊具コーナー》 研究指導：福井晴子教授

手づくり絵本(みんなのどうぶつえん)、段ボールパズル(たのしいなかまたち)、何でもできる木をみんなでつくろう、はなはな・ふくわらい、おさかなヒョイ・とばしてポン、アンパンマンわなげ、カラフルボーリング、お土産制作

《読み聞かせコーナー》 研究指導：浦上とし子講師

大型絵本の読み聞かせ・大型紙芝居の実演・ペープサート「3びきのやぎのがらがらどん」、エプロンシアター、パネルシアター

《地域を活かした遊びコーナー》 研究指導：山口雪子准教授

「なにがつけれるかな?」「みんな知っとる?地元の名産物!!」「ようかいたいじ」「カエルさんもぐもぐっ!!」

卒業研究「造形」 (研究指導：福井晴子教授)

「子どもといっしょに発表会を通しての学び2014」

- 石田典子 井谷百花 梅崎利香 岡 愛梨
沖津奈美 川上美保 小室 悠 高橋志帆
高橋玲香 多田彩加 田邊真優 中山茉奈美
日倉真子 藤本千明 古川桃子

卒業研究「保育相談支援」 (研究指導：井頭久子教授)

「保育相談実践室での取組－保育相談支援の演習とロールプレイ」

- 熊野愛美 西村有純 濱子真希 林 知穂 堀川 栞
三島菜摘

卒業研究「環境」 (研究指導：山口雪子准教授)

「地域の自然や文化を活かした遊びの計画と実践」

- 有馬佑衣子 石川彩恵 岡 菜摘 小原優香
加戸友佳梨 川上美津穂 島田紗綾 竹本有沙
田中那美 中村香穂 氷上詩菜 藤中郁江
見尾奈々保 山口彩女 吉岡美咲

卒業研究「情報リテラシー」 (研究指導：張秉煥准教授)

「保育サービスとITの連携活用の可能性」

大藪智子

卒業研究「吹奏楽」 (研究指導：平松泰一講師)

「吹奏楽での生きた音楽を体感し、幼児の感性や表現力を養う研究」

- 木下莉那 小林里沙 坂本仁美 清水麻理
田中いつか 中川瑞紀 榊田結衣 渡邊優実

卒業研究「児童文化」 (研究指導：尾崎聡教授)

「保育所や幼稚園の立地する地域の伝説を訪ねる」

- 東 未智 板田真緒 植田健太 片沼拓也
加藤尚子 加藤七恵 水 智大

卒業研究「絵本・紙芝居研究」

(研究指導：浦上とし子講師)

「絵本・紙芝居を中心にした『おはなし』の実践と成果」

- 芦田紗耶 泉紗津稀 大西真央 門脇由美
高津友紀奈 高橋春香 坪井祐有子 中原 茜
濱渦かえで

幼児教育学科 卒業研究発表

平成26年1月15日(水)、本学情報処理教育センターのD302教室において卒業研究発表会が行われた。内容は以下の通りである。

【発表題目および発表者】

卒業研究「表現」 (研究指導：藤井真理准教授)

「『幼児ダンス』の制作・発表に関する一考察－PDCAサイクルに基づいて」

- 大熊恵実 大府史奈 筒井由美 都野川愛弓
富永真紀 野村芽吹 橋本梨可 平田知恵
穂崎早織 三村知香 山下千尋 横張真由美
吉田明世

卒業研究「言葉の指導」 (研究指導：浦上博文教授)

「おすすめの言葉あそび～幼稚園教育実習の実践から～」

- 赤石智香 佐藤由里 森川 歩

卒業研究「コーラス」 (研究指導：畑田弘美講師)

「コーラスの練習の積み重ねの成果と協調から得た学びを検証する」

- 大田礼菜 中島尚子 森本絵梨佳

卒業研究「子ども研究」 (研究指導：楠本恭之准教授)

「『遊び履歴シート』作成の試み」

- 藤井佐小理 牧添 楓 吉岡優希

『同窓会50年の歩み』記念誌のご案内



なつかしい学生時代の様子や校舎の写真が詰まった同窓会50周年記念誌(平成15年10月発行)はいかがですか?

- 販売期間：在庫の限り(申込順に販売)
- 価格：800円(記念誌¥500+送料¥300)
- 申込方法：郵便振替(郵便局にてお振込みください)
口座番号：01220-5-4076
加入者名：岡山学院大学岡山短期大学同窓会
通信欄：「同窓会50年の歩み購入、ご住所、お名前、電話番号」
をご記入ください。
※領収書は大切に保管ください。

【お問い合わせ先】

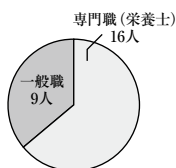
岡山学院大学岡山短期大学同窓会事務局
〒710-8511 岡山県倉敷市有城787 (Tel:(086)428-2651)

平成25年3月卒業生就職状況

岡山学院大学

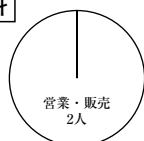
食物栄養学科

卒業生数 27名
就職希望者数 25名
専門職(栄養士) 16名
一般職 9名



キャリア実践学科

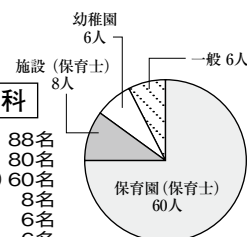
卒業生数 4名
就職希望者数 4名
就職者数 2名



岡山短期大学

幼児教育学科

卒業生数 88名
就職希望者数 80名
保育園(保育士) 60名
施設(保育士) 8名
幼稚園 6名
一般 6名



岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金者一覧

(平成25年1月～12月の拠金者)

卒業年・学科	氏名	(旧姓)
S29	三宅寿恵	(片岡)
S32	伊藤美津子	(内山)
S32	岡田登代子	(影山)
S34	寺田良江	(古川)
S35	加藤愛子	(大元)
S36	小川園恵	(須野田)
S39	岩田典子	(藤井)
S40	佐藤光江	(小畑)
S40	弓場則子	(岡野)
S41	森藤静穂	
S42	梅木絹枝	(金澤)
S44	湯畑富貴恵	(弓井)
S45	岡野好江	
S46	原静子	
S47	浅野晴美	(高田)
S47	白神富子	(大塚)
S50	竹本晴子	
S50	来山由起子	(猪原)
S52	中土井悦子	(佐藤)
S53	襟立千草	(小川)
S55	横山宏子	(梶並)
S55	河村久美子	(藤本)
S56	楨恵美子	(村上)
H7	中務衣都子	(岡堂)
H23	川井智絵	

岡山学院大学・岡山短期大学 ITリテラシー教育のための拠金の御礼 および拠金継続について

母校のITリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に、第1回目の贈呈(図書館ノートPC12台<300万円>)を行っています。

拠金総額

年度	拠金額	振込手数料	累計
平成14・15年	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年	210,000円	0円	4,155,344円
平成23年	210,000円	0円	4,365,344円
平成24年	1,190,000円	0円	5,555,344円
平成25年12月末現在	133,000円	0円	5,688,344円
合計			5,688,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

平成24年度 収支決算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

拠金内訳	
10,000円×2名	20,000円
5,000円×22名	110,000円
3,000円×1名	3,000円
合計	133,000円

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
繰越金	13,774,110	会議費	408,689
新入会員会費	1,950,000	交通費	131,000
総会費	285,000	印刷費	876,921
50年の歩み冊子収入	7,000	通信費	1,096,799
拠金収入	1,195,000	慶弔費	0
雑収入	11,816	消耗品費	10,551
合計	17,222,926	拠金支出	0
		手数料支出	8,930
		予備費	0
		次年度繰越金	14,690,036
同窓会館準備費	10,000,000	合計	17,222,926